令和５年度

総合型選抜学生募集要項

（インターネットにより出願受付）

令和４年７月

静　岡　大　学

＜新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について＞

新型コロナウイルスの今後の感染状況によっては，募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することもあります。変更する場合には，本学学部入試ウェブサイト（**https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/**）に掲載しますので，ご確認ください。

設置認可申請中の「グローバル共創科学部（仮称）」の総合型選抜学生募集要項については，９月上旬に公表する予定です。

出願準備から受験までの流れ

① 入試日程・出願手続を確認する。

⇩

② 出願書類を準備する。

●ダウンロードが必要な様式を静岡大学学部入試ウェブサイトからダウンロードし，作成する。（24ページ参照）

・自己推薦書
・課題レポート（人文社会科学部 経済学科）

●高等学校に調査書を依頼する。

●その他，出願学部で必要な書類を用意する。（24ページ参照）

・合格証明書類のコピー（人文社会科学部 経済学科）
・高等学校の成績通信簿のコピー（任意）（情報学部 情報科学科）

⇩

③ 静岡大学インターネット出願サイトにアクセスする。
（下記URL参照）

⇩

④ インターネット出願サイトにて必要事項を入力する。

⇩

⑤ 検定料を納入する。（クレジットカード決済・コンビニ決済）
※17,000円（要別途手数料）

◎ 納入後の入学検定料は，28ページの「検定料の返還等について」に掲げる場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

⇩

⑥ 検定料の納入後に出力可能となる書類（出願確認票，受験票送付用封筒宛名ラベル及び出願封筒用宛名ラベル）を出力する。

⇩

⑦ 出願確認票の記載内容を確認する。

⇩

⑧ 出願封筒用宛名ラベルの内容を確認し，市販の角形2号の封筒に貼付のうえ，出願期間内に必着するように出願書類を郵送する。
（注：消印有効ではありません）

⇩

⑨ 大学からの受験票・写真票を郵送にて受領する。

⇩

⑩ 写真票（写真を貼付）を試験当日に持参し，受験する。

※ インターネットでの登録だけでは出願は完了しません。必ず出願書類を出願期間内に必着するように送付してください。

【インターネット出願サイト】

https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/entry/index.html

インターネットによる出願のできない志願者は，出願開始前日までに入試課までご連絡ください。

目　　次

Ⅰ　はじめに　２ページ

☆　静岡大学の「入学者受入の方針（アドミッション･ポリシー）」 〈2ページ〉
☆　各学部の入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー） 〈2ページ〉
☆　学部等の所在地 〈8ページ〉

Ⅱ　募集人員　８ページ

Ⅲ　障害等のある入学志願者への受験上の配慮　９ページ

Ⅳ　選抜方法等　10ページ

１　大学入学共通テストを課さない総合型選抜
人文社会科学部：１０ページ,　情報学部：１１ページ,
工 学 部　：１２～２０ページ,　農 学 部：２１ページ

２　大学入学共通テストを課す総合型選抜
理 学 部　：２２ページ

Ⅴ　出願手続　23ページ

１　出願期間 〈23ページ〉
２　出願方法 〈23ページ〉
３　出願先 〈23ページ〉
４　出願書類等 〈23ページ〉

Ⅵ　出願上の注意　24ページ

Ⅶ　選抜日時　26ページ

Ⅷ　試験場　26ページ

Ⅸ　合格発表　27ページ

※ 受験票・写真票についての注意 〈27ページ〉
※ 検定料の返還等について 〈28ページ〉

☆　入学手続（概要）　29ページ

☆　「入学前準備教育」について　30ページ

☆　総合型選抜　Ｑ＆Ａ　31ページ

☆　学生生活　35ページ

☆　寮生募集　36ページ

■　静岡キャンパスマップ 〈37ページ〉
■　浜松キャンパスマップ 〈38ページ〉

入学試験情報の提供　39ページ

個人情報の取扱い　39ページ

安全保障輸出管理　39ページ

Ⅰ はじめに

☆ 静岡大学の「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」

【育てる人間像】

静岡大学は，教職員，学生が共に「自由啓発」を基盤として，平和で幸福な「未来創成」をめざします。この基本理念の下，地球の未来に責任をもち，アジアをはじめ諸外国との関わりをもつ国際的感覚を備え，高い専門性を有し，失敗を恐れないチャレンジ精神にあふれた人格を育成します。こうした人格こそが，社会の様々な分野でリーダーとして，２１世紀の解決すべき問題を追求し続ける豊かな人間性を有する教養人です。

【目指す教育】

感性豊かな知性を育てるために，フィールドワーク，ものづくり体験，地域づくり，子どもと共にそだちあえる学校や地域の場に接する機会を活用します。それによって刺激を受けた人間力を，基礎と応用の分野での学習・研究に反映させます。

【求める学生像】

失敗を恐れず若々しいチャレンジ精神をもち，人の意見によく耳を傾け，それに学び，協調性豊かに自己主張ができる人の入学を期待します。

＊「自由啓発」・「未来創成」については，本学ホームページの「大学案内」＞「理念と目標・取組」＞『理念と目標』（https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/document/manifesto.pdf）をご覧ください。

＊ 静岡大学では「多様な選抜」で「多様な人材」を求めており，一部の学部・学科において専門学科及び総合学科枠等の出願資格の限られた募集区分を設けています。

☆ 各学部の入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

◆人文社会科学部

【育てる人間像】

２１世紀の多様な問題に，社会，言語，文化，法律，政治，経済等の分野から取り組むために必要な専門知識と能力を身につけ，国際的な視野と幅広い教養を備え，人類社会の発展に貢献する市民・社会人を育成します。

【目指す教育】

人文社会科学諸分野の専門教育とともに，専門知識を生かして課題発見・問題解決する能力を育成する少人数教育やフィールドワーク教育（体験型教育）を行います。

【求める学生像】

人類社会が共に抱える諸問題に関心をもち，人文社会科学領域に対する学習意欲と，そのための基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

社会学科は５つの専門分野からなる学際性の高い学科です。専門性を高めつつも横断的に学んでいくために，人間や社会に対しての旺盛な関心，各種科目についての基礎知識，論理的な思考力，正確な文章読解力，基礎的な表現力を身につけておくことが求められます。

言語文化学科で学ぶ基礎となる論理的な思考力，文章の読解力，自分の意見を伝える表現力，他者との意思疎通を図るコミュニケーション能力を高めておく必要があります。高等学校までの教育課程で修得する基盤的教養と国語や外国語の能力は特に重要です。

法学科で学ぶには，論理的な思考力，文章の読解力，自分の意思を適切に伝える表現力，他者との円滑な意思疎通を図る能力が必要になります。日頃から社会の動きに関心を持ち，幅広い問題意識と探求心を養っておいてください。

経済学科で学ぶには，必要な能力の素地となる基礎的な学力として，初等中等教育における国語・外国語・数学・理科・社会の各教科を学習しておくことが必要です。また新聞やニュースを通じて経済に関する国内外の時事問題等を理解しておくことが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

［社会学科］

人間社会や文化を現代的，歴史的な観点（哲学・倫理学，心理学，社会学，文化人類学，歴史学・考古学）から見直す学際的な知見と判断力を具えた有能な人材を養成することを目指し，そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

［言語文化学科］

従来の文学，語学の領域にとどまらず，言語によって表現されうるあらゆる文化事象を教育研究の対象とする方針の下で，言語と文化に関する深い専門性と学際的・国際的な視野，及び外国語の実践的能力を兼ね具えた人材を育成することを目指し，そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

［法学科］（夜間主コース含む）

法学・政治学は，現代社会の理解を目的に，それに必要な法的・政治的な知識，分析・総合能力，論理的思考能力，表現能力等の修得を目指すものです。そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

［経済学科］（夜間主コース含む）

人びとの経済活動は，現代社会の根底的な基礎をなしています。社会や経済が変化していくなかで，その実態や理論を学び，経済問題への分析を深め，その解決方法を探ることはきわめて重要です。経済学科では，このような課題に取り組み，社会や企業において活躍できる人材の育成を目指しておりそのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

《総合型選抜》：経済学科のみ（夜間主コースを除く）

（１）聴講・論述試験：講義内容や資料についての理解力，問題発見能力や入学後に必要となる論理的文章能力等を総合的に判断します。

（２）レポートに基づく面接：現代経済の直面する問題についての理解力や自分の考え等をまとめ，展開する力について判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜	経済学科(*1)	聴講・論述試験	○	○	
		レポートに基づく面接	○	○	○

*1：夜間主コースを除く

◆情報学部

【育てる人間像】

情報科学と情報社会についての豊かな知識と国際感覚を備え，情報モラルと高度な情報技術，情報マネジメント能力を身につけた社会人を育成します。

【目指す教育】

情報科学と情報社会学が連携・融合した情報学の基礎的な教育とともに，計算機科学，情報サービス，情報社会デザインというそれぞれの分野において体系的な専門教育を行います。

【求める学生像】

新しい学問分野「情報学」に強く興味を持つ人，情報ネットワーク社会にあって多様化する地域社会に貢献しようという意欲のある人，情報学を学ぶうえで必要な基礎学力と論理的思考力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

情報学部は文工融合の理念にもとづいた学部です。学科により理系入試と文系入試がありますが，大学入学後は３学科の専門科目にまたがる諸科目を履修します。

したがって，大学での授業に対応できるように理系文系を問わず広く教科・科目を学習し，基礎知識を習得しておくことが必要です。また基礎知識に加えて，各教科・科目の学習を通して論理的思考力・問題発見力・表現力を養うことも必要です。

【入学者選抜の基本方針】

［情報科学科］

人間・社会と調和する情報システムの構築を目的に，ａ．計算機科学の基礎となる理論や技術，ｂ．インターネットの基礎となる計算機ネットワークの理論と技術，ｃ．人工知能システムなどの高度な情報処理システム，ｄ．音声や画像，自然言語などのメディア処理とその応用，ｅ．認知科学やそのヒューマンインタフェースへの応用などの分野で専門的実践能力をもった人材を育成することを目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

［情報社会学科］

高度情報化は，人間の社会や文化に深く影響を与えています。情報社会学科では，情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで，多角的な観点から情報社会の目標や課題を考えていきます。そして，多様な専門家との協働の場を形成し，新しい情報社会をデザイン・実現できる人材を育成することを目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

［行動情報学科］

高度情報化社会の下で，個人や組織の行動主体の情報学研究や，ICTのより実践的な活用が強く求められています。行動情報学科では，情報科学と行動科学を融合させ独自に発展しつつある「行動情報学」をベースに，革新的なサービスを創出する人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

《総合型選抜》：情報科学科

（１）基礎学力を問う試験：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）書類審査：情報科学科で学ぶために必要な能力・適性などを判断します。
（３）面接：情報科学科で学ぶための論理的思考力・理解力・問題発見能力等を総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜	情報科学科	基礎学力を問う試験	○	○	
		書類審査	○	○	○
		面接	○	○	○

◆理学部

【育てる人間像】

高い専門性とともに幅広い教養・豊かな人間性・国際感覚を身につけた社会に貢献できる人を育成します。

【目指す教育】

自然界の真理の探究，科学の進展と応用を通じて人類の幸せに寄与することを目指した教育を行います。

【求める学生像】

知的好奇心や探究心を強く持って未知へ挑戦する情熱ある人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

理学部が行う入学者選抜試験は，受験者が上記の「求める学生像」を満たす人であるかどうかをはかるものです。「未知への挑戦」のためには幅広い基礎知識が必要です。

したがって，入試種別に関わりなく，特定の教科・科目にかたよらないよう，高校までに学習する全ての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

【入学者選抜の基本方針】

［数学科］

現代数学の基礎的分野について確実な知識を持ち研究・教育・応用いずれの方面に進んでも，それぞれの創造性を十分発揮できるような人材の養成を目標に，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［物理学科］

物理学の基本となる力学，電磁気学，統計物理学，量子力学などの科目を通じて，物理学的な考え方や数学的手法を学び，自然現象の本質を探る研究や科学技術の研究開発に必要な基礎学力と論理的

で柔軟な思考能力を身につけて，社会や学問の発展に貢献できるような人材の育成を目的に，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［化学科］
理論化学，無機化学，分析化学，有機化学，生化学などの化学の幅広い理論や技術を学び，自然科学の分野において活躍できる人材の育成を目的に，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［生物科学科］
生物科学についての理論と技術を幅広く学び，生物科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［地球科学科］
地球科学についての理論と技術を幅広く学び，地球科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［創造理学（グローバル人材育成）コース］
基礎科学の各分野における学識とそれに基づいた問題解決能力を備え，英語による情報の収集と発信する力や国際感覚を持ち，各分野の知識・技術を社会に活かすイノベーションの感覚を持ってグローバルに活躍できる人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

《総合型選抜》：地球科学科
（1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。
（2）面接：地球科学に関して興味のある分野や事柄，これまで熱心に行ってきた活動や体験，大学における学習計画，将来の抱負などを中心に質疑応答を行い，それらを通じて論理性や表現力，理解力などを評価します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜	地球科学科	大学入学共通テスト	○	○	
		面接	○	○	○

◆工学部

【育てる人間像】
「仁愛を基礎にした自由啓発」の精神を尊び，人類の豊かな未来の創成に貢献することを理念とし，「ものづくり」を基盤とした基礎力と実践力を備え，地域社会や産業分野でリーダーとして活躍し世界にはばたく人材を育成します。

【目指す教育】
豊かな教養と感性及び国際的な感覚を身につけ，多様化する社会に主体性を持って柔軟に対応し，独創性に富んだ科学技術を創造する技術者として活躍できるための素地を培う実学重視の教育を行います。

【求める学生像】
「ものづくり」に興味があり，何事にも協調性を持ちながら積極的に立ち向かう人，高い倫理観を持って社会に貢献しようとする人，工学を学ぶうえで必要な基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】
工学部が行う入学者選抜試験は，工学を学ぶうえで必要な基礎学力を受験者が有しているかを判定します。大学入学共通テストでは，前後期日程とも５教科７科目を課し総合的な基礎学力を問うとともに，個別学力検査では，各学科で学ぶための基本となる学力について問うため，前後期日程とも数学，理科，英語の３教科３科目を課しています。
したがって，入試種別に関わりなく，理系科目に重点を置きながらも，文系科目を含めて高校までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得していることが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】
［機械工学科］
航空宇宙の技術や環境問題にも対応できる先端の機械技術を有する人材，ロボットなどの身近な機

械の設計や先端材料の強度設計と加工技術を有する人材，光・電気電子・情報・生体・ナノ工学分野を積極的に取入れた機械システム・技術の開発に貢献できる人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［電気電子工学科］
現代文明を支える社会・産業の基幹技術としての電気電子工学は，情報通信・情報処理，生体医用技術，光エレクトロニクス，電気エネルギーの発生および有効利用，パワーエレクトロニクス，電子計測制御技術の開発・応用へと広範囲に時代の要請を先取りして拡がっています。これらの電気電子工学の諸分野において高い専門性を持った人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［電子物質科学科］
電子物質科学は，現代の豊かで安全な生活を支えている電気電子機器産業や輸送機器産業あるいは新規エネルギー産業の発展の基盤となる電子物理と物質科学を融合した新しい学問分野です。そこで，本学科では数学，物理や化学の基礎学力があり，日本が世界に誇れるデバイス技術と材料技術をともに修得して新しい学問領域や科学技術の進歩を牽引できる人材の育成を目指しており，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［化学バイオ工学科］
化学バイオ工学科では，光機能物質，生体機能物質などの環境調和型高機能物質のデザインと創成や，環境化学，化学システムの開発・設計に関する教育と研究を行います。また，化学技術と生物工学を新たに融合させた「生物からのものづくり技術」であるケミカルバイオエンジニアリングに関する教育と研究を行います。この化学をベースとした新領域の工学的応用を進めていくことにより，研究開発やシステム構築を含めた化学分野全体において，責任を持って積極的に目的を遂行できる社会のリーダーたる人物の育成を目指します。選考では，そのために必要な能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［数理システム工学科］
数理システム工学科では，数理モデリング・シミュレーション・最適化など数理科学の手法とプログラミング言語・アルゴリズムなど情報科学の基礎，そしてリスク管理など環境科学の諸分野の学習により，「地球にやさしいシステムエンジニア」の育成を目指しており，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

《総合型選抜》
（1）基礎学力を問う試験：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（2）［機械工学科］グループ討論・面接：グループ討論では，機械工学科で学ぶための知識・技能，論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。面接では，機械工学に対する意欲や目的意識を特に問います。
［電気電子工学科］面接：電気電子工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。面接は口頭試問を含みます。
［電子物質科学科］面接：電子物質科学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。面接は口頭試問を含みます。
［化学バイオ工学科］面接：化学バイオ工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。面接は口頭試問を含みます。
［数理システム工学科］面接：数理システム工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。面接は口頭試問を含みます。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜	全学科	基礎学力試験	○	○	
	機械工学科	グループ討論	○	○	○
	機械工学科	面接		○	○
	電気電子工学科，電子物質科学科，化学バイオ工学科，数理システム工学科	面接	○	○	○

◆農学部

【育てる人間像】

人間社会と直結したフィールド科学と基礎科学を修得し，農学の幅広い専門分野を俯瞰でき，かつ相応の専門性を有するとともに，人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し，地域活性化への貢献とグローバル社会への適応が可能な総合力を備えた人材を育成します。

【目指す教育】

実地体験型フィールド演習と基礎科学実験を基盤として，座学と実験・演習の連動を重視したカリキュラム構成によって，基礎から応用までを見渡せる広い視野を身につけるとともに，専門性を高める教育を行います。

【求める学生像】

自然科学，生命科学を学ぶ上で必要な適性と基礎学力を有し，人類の生存と福祉に関わる環境・社会問題の解決，持続可能な生物生産技術の開発，応用生命科学の探求に強い意欲を持つ人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

農学部が行う入学者選抜試験は，受験者が「求める学生像」の観点を満たす人物であるかどうかをはかるものです。前期日程では，大学入学共通テストで５教科７科目と個別学力検査では数学，理科を課しています。また後期日程では，大学入学共通テストの５教科７科目と個別学力検査では理科等を課しています。

したがって，入試種別に関わりなく，高等学校修了までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得するとともに，理系科目を十分に学習しておくことが必要です。

【入学者選抜の基本方針】

人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し，持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を，次の各試験において判断します。

《総合型選抜》：生物資源科学科
（１）基礎学力を問う試験：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）小論文・面接：生物資源科学科で学ぶための農学の素養等を総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜	生物資源科学科	基礎学力を問う試験	○	○	
		小論文・面接	○	○	○

☆ 学部等の所在地

静岡地区	人文社会科学部	〒422-8529　静岡市駿河区大谷836
	教 育 学 部	
	理　学　部	
	農　学　部	
	地域創造学環（教育プログラム）	
	大 学 院（人文社会科学研究科修士課程）	
	〃　（教育学研究科後期3年博士課程）	
	〃　（教育学研究科専門職学位課程）	
	〃　（総合科学技術研究科理学専攻修士課程）	
	〃　（総合科学技術研究科農学専攻修士課程）	
	〃　（創造科学技術大学院自然科学系教育部後期3年博士課程）	
	〃　（岐阜大学大学院連合農学研究科後期3年博士課程）	
	グリーン科学技術研究所	
浜松地区	情 報 学 部	〒432-8561　浜松市中区城北三丁目5番1号
	工　学　部	
	大 学 院（総合科学技術研究科情報学専攻修士課程）	
	〃　（総合科学技術研究科工学専攻修士課程）	
	〃　（創造科学技術大学院自然科学系教育部後期3年博士課程）	
	〃　（光医工学研究科光医工学共同専攻後期3年博士課程）	
	電子工学研究所	
	グリーン科学技術研究所	

Ⅱ 募 集 人 員

学部	総合型選抜を実施する学科	募集人員		
		大学入学共通テストを課さない総合型選抜		大学入学共通テストを課す総合型選抜
		全学科枠	専門学科及び総合学科枠	全学科枠
人文社会科学部	経 済 学 科		6	
	計		6	
情報学部	情報科学科		10	
	計		10	
理学部	地球科学科			8
	計			8
工学部	機械工学科	3	2	
	電気電子工学科	6	3	
	電子物質科学科		3	
	化学バイオ工学科	6	2	
	数理システム工学科	3	2	
	計	18	12	
農学部	生物資源科学科		12	
	計		12	
合　計		18	40	8

※　志願者が募集人員を下回った場合，及び選考の結果合格者が募集人員に満たなかった場合，その欠員は一般選抜の募集人員に含めます。

Ⅲ 障害等のある入学志願者への受験上の配慮

1　障害等のある入学志願者で，**受験上及び修学上の配慮を希望する場合**は，出願する前に，下記により申請してください。結果については決定次第，本人に連絡します。**大学入学共通テストの受験に際し配慮を申請した人も，必ず申請してください。**

なお，申請前までに本学のキャンパス（設置場所，環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申 請 期 限	出願期間開始の１か月前まで，厳守でお願いします。 ※対応の検討に時間を要する場合もありますので，できる限り早めに申請してください。
申請の方法	本学所定の『受験上の配慮申請書』に，『障害者手帳』の写しまたは医師の『診断書』（大学入学共通テストで受験上の配慮を認められた場合は「受験上の配慮事項決定通知書」の写し）を添えて申請してください。 なお，必要な場合は，本人またはその立場を代弁できる方（保護者，出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。
連　絡　先	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学入試課入試実施係　　℡ 054-238-4465

2　出願締切後に，不慮の事故等のため，受験上及び修学上の配慮を希望する場合は，速やかに本人または代理人が医師の『診断書』を持参のうえ，上記【連絡先】に申請してください。

3　受験上の配慮の許可を受けた場合は，出願書類送付封筒の表に「受験上の配慮」と朱書きし，本学から送付された「受験上の配慮についての通知」の写しを出願書類に同封してください。

【注】１　『受験上の配慮申請書』は，本学のウェブサイトからダウンロードしてください。
（学部入試サイト = https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/measures.html ）
郵便による照会及び『受験上の配慮申請書』の用紙を請求する場合は，84円分の切手を貼り，請求者の郵便番号，住所，氏名を明記した『返信用封筒（長形４号:20.5cm×9cm）』を同封のうえ，上記連絡先まで送付してください。

２　電話による照会及び『受験上の配慮申請書』を持参する場合は，土曜日，日曜日及び休日（12月28日～1月3日の年末年始を含みます）には受け付けませんので注意してください。

Ⅳ 選抜方法等

1　大学入学共通テストを課さない総合型選抜　1－(1)

〔人文社会科学部　1／1〕

学　　部	人文社会科学部
学　　科	経済学科
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠　6 名
出 願 期 間	令和 4 年 9 月 1 日 （木） から 令和 4 年 9 月 7 日 （水） まで **《最終日の17時までの必着とします。》**
選 抜 期 日	令和 4 年 10 月 8 日 （土） 予備日： 令和 4 年 10 月 22 日（土）
選抜方法等	1　聴講・論述試験（配点：100点） 講義（45分程度）を聞いてその内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）してもらいます。 2　レポートに基づく面接（配点：100点） 志願者は，以下の課題のいずれかを選択し，事前にレポート（所定の用紙）を提出してください。同レポートにもとづき質疑を行います。 課題：人口減少，経済制裁，まちづくり 3　聴講・論述試験の成績と面接の結果を総合して選抜します。
配　　点	合計 200（ 聴講・論述試験 100，面接 100 ）
選 抜 方 針	聴講・論述試験では，講義内容や資料についての理解力，問題発見能力や入学後に必要となる論理的文章能力などを総合的に判断します。 面接では，現代経済の直面する問題についての理解力や自分の考え等をまとめ，展開する力について判断します。
出 願 資 格	高等学校，中等教育学校を卒業又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人（高等専門学校第３年次を令和5年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を全て満たす人 ・商業に関する科目を20単位以上修得（見込みを含む）の人 ・学習成績概評がＡ段階以上の人 ・次の(ア)～(ウ)のうち2つ以上を取得している人 (ア)日商簿記2級以上または全商簿記1級（会計（商業簿記を含む）又は原価計算） (イ)英検準2級以上 (ウ)経済産業省基本情報技術者試験 又は全商情報処理検定1級(ビジネス情報部門又はプログラミング部門)
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人
備　　考	1　合格者のうち，希望者には入学前準備教育を用意しています。 （詳細については30ページを参照してください。） 2　天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日に実施します。

１　大学入学共通テストを課さない総合型選抜　１－（２）

学　　部	情報学部	
学　　科	情報科学科	
募集人員	専門学科及び総合学科枠　10 名	
出願期間	令和 4 年 9 月 1 日（木）　から　令和 4 年 9 月 7 日（水）　まで **《最終日の17時までの必着とします。》**	
選抜期日	第一次選抜	**令和 4 年 9 月 23 日（金）**
	第二次選抜	**令和 4 年 10 月 8 日（土）**
	予　備　日	**令和 4 年 10 月 22 日（土）**
選抜方法等	第一次選抜	１　基礎学力を問う試験（「英語」，「『数学』もしくは『数学・情報』」） （配点：100点×2） ２　書類審査（配点：200点） 『数学』の出題範囲は「数学Ⅰ，数学Ⅱ」とします。 「英語」，「『数学』もしくは『数学・情報』」の得点がそれぞれ配点の50%に達しない場合は，原則として合格対象者から除外します。
	第二次選抜	**＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞** 面接（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜での面接と第一次選抜の基礎学力を問う試験の結果を総合して決定します。	
配　　点	第一次選抜 400，第二次選抜 500	
選抜方針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，情報科学科で学ぶための論理的思考力・理解力・問題発見能力等を総合的に判断します。	
出願資格	高等学校，中等教育学校を令和5年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部，高等専門学校第３年次又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和5年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を満たす人 ・専門教育に関するいずれか一つの教科※の科目を合計20単位以上修得又は修得見込みの人 ※　専門教育に関する教科の範囲は，情報，工業，商業及び農業，水産，家庭，看護，福祉，体育，音楽，美術，英語，理数とする。	
出願要件	合格した場合，入学を確約できる人	
備　　考	１　『数学・情報』は，『数学』との共通問題（配点の約3分の2）と情報の問題（配点の約3分の1）からなります。（Ｑ＆Ａも参照してください。） ２　合格者のうち，希望者には入学前準備教育を用意しています。 （詳細については30ページを参照してください。） ３　天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

１　大学入学共通テストを課さない総合型選抜　１－（３）

学　　部	工学部	
学　　科	機械工学科	
募集人員	全学科枠　３ 名	
出願期間	令和 ４ 年 ９ 月 １ 日 （木） から 令和 ４ 年 ９ 月 ７ 日 （水） まで **《最終日の17時までの必着とします。》**	
選抜期日	第一次選抜	**令和 4 年 9 月 23 日（金）**
	第二次選抜	**令和 4 年 10 月 8 日（土）**
	予　備　日	**令和 4 年 10 月 22 日（土）**
選抜方法等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「物理」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」…物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	**＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞** 面接に加えて機械工学に関係するグループ討論を実施して機械工学の素養を評価します。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配　　点	合計 600（ 第一次選抜 300，第二次選抜 300 ）	
選抜方針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 グループ討論では，機械工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。面接では，機械工学に対する意欲や目的意識を特に問います。	
出願資格	次のいずれかに該当する人 （１）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人 （２）通常の課程による12年の学校教育を修了又は令和5年3月31日までに修了見込みの人 --- 上記の資格を満たし，高等学校における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が３．８以上の人	
出願要件	合格した場合，入学を確約できる人	
備　　考	１　『全学科枠』と『専門学科及び総合学科枠』の併願はできません。 ２　出願後は枠の変更はできません。 ３　合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については30ページを参照してください。） ４　宇宙・環境コース，知能・材料コース及び光電・精密コースへのコース分けを2年次末に行い，各コースへの配属は3年次の始めとなります。 ５　天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

1　大学入学共通テストを課さない総合型選抜　1－(4)

学　部	工学部	
学　科	電気電子工学科	
募集人員	全学科枠　6 名	
出願期間	令和 4 年 9 月 1 日 (木)　から　令和 4 年 9 月 7 日 (水)　まで **《最終日の17時までの必着とします。》**	
選抜期日	第一次選抜	**令和 4 年 9 月 23 日 (金)**
	第二次選抜	**令和 4 年 10 月 8 日 (土)**
	予　備　日	**令和 4 年 10 月 22 日 (土)**
選抜方法等	第一次選抜	基礎学力を問う試験 (「英語」, 「数学」, 「物理」) (配点：100点×3) ※「数学」及び「物理」の出題範囲は, 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」…物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	**＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞** 面接 (口頭試問を含む) を行います。(配点：300点)
	合否判定は, 第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配　点	合計 600 (第一次選抜 300, 第二次選抜 300)	
選抜方針	基礎学力を問う試験では, 大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では, 電気電子工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出願資格	次のいずれかに該当する人 (1) 高等学校 (中等教育学校を含む。以下同じ) を卒業又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了又は令和5年3月31日までに修了見込みの人 --- 上記の資格を満たし, かつ高等学校の学業成績の優秀な人	
出願要件	合格した場合, 入学を確約できる人	
備　考	1　『全学科枠』と『専門学科及び総合学科枠』の併願はできません。 2　出願後は枠の変更はできません。 3　合格者には, 原則として入学前準備教育を受講していただきます。 (詳細については30ページを参照してください。) 4　情報エレクトロニクスコース及びエネルギー・電子制御コースへのコース分けを1年次末に行い, 各コースへの配属は2年次の始めとなります。 5　天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は, 予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は, 第一次選抜を第二次選抜期日に, 第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し, 第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は, 予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については, 本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

１　大学入学共通テストを課さない総合型選抜　１－（５）

〔工学部　３／９〕

学　　部	工学部	
学　　科	化学バイオ工学科	
募集人員	全学科枠　6 名	
出願期間	令和 4 年 9 月 1 日 （木） から 令和 4 年 9 月 7 日 （水） まで **《最終日の17時までの必着とします。》**	
選抜期日	第一次選抜	**令和 4 年 9 月 23 日（金）**
	第二次選抜	**令和 4 年 10 月 8 日（土）**
	予　備　日	**令和 4 年 10 月 22 日（土）**
選抜方法等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「化学」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「化学」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「化学」…化学基礎・化学の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	**＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞** 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配　　点	合計 600（ 第一次選抜 300，第二次選抜 300 ）	
選抜方針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，化学バイオ工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出願資格	次のいずれかに該当する人 （１）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人 （２）通常の課程による12年の学校教育を修了又は令和5年3月31日までに修了見込みの人 （３）学校教育法施行規則第150条※の規定により，高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人又は令和5年3月31日までにこれに該当する見込みの人 ※「学校教育法施行規則第150条の規定」は25ページを参照	
出願要件	合格した場合，入学を確約できる人	
備　　考	１　『全学科枠』と『専門学科及び総合学科枠』の併願はできません。 ２　出願後は枠の変更はできません。 ３　合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については30ページを参照してください。） ４　環境応用化学コース及びバイオ応用工学コースへのコース分けを1年次末に行い，各コースへの配属は2年次の始めとなります。 ５　天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

１　大学入学共通テストを課さない総合型選抜　１－（６）

〔工学部　４／９〕

学　　部	工学部	
学　　科	数理システム工学科	
募集人員	全学科枠　３ 名	
出願期間	令和 ４ 年 ９ 月 １ 日 （木） から 令和 ４ 年 ９ 月 ７ 日 （水） まで **《最終日の17時までの必着とします。》**	
選抜期日	第一次選抜	**令和 4 年 9 月 23 日（金）**
	第二次選抜	**令和 4 年 10 月 8 日（土）**
	予　備　日	**令和 4 年 10 月 22 日（土）**
選抜方法等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「物理」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」…物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	**＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞** 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配　　点	合計 600（ 第一次選抜 300，第二次選抜 300 ）	
選抜方針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，数理システム工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出願資格	次のいずれかに該当する人 （１）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人 （２）通常の課程による12年の学校教育を修了又は令和5年3月31日までに修了見込みの人 （３）学校教育法施行規則第150条※の規定により，高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人又は令和5年3月31日までにこれに該当する見込みの人 ※「学校教育法施行規則第150条の規定」は25ページを参照	
出願要件	合格した場合，入学を確約できる人	
備　　考	１　『全学科枠』と『専門学科及び総合学科枠』の併願はできません。 ２　出願後は枠の変更はできません。 ３　合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については30ページを参照してください。） ４　天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

１　大学入学共通テストを課さない総合型選抜　１－（７）

〔工学部　５／９〕

学　　部	工学部	
学　　科	機械工学科	
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠　２ 名	
出 願 期 間	令和 ４ 年 ９ 月 １ 日 （木） から 令和 ４ 年 ９ 月 ７ 日 （水） まで **《最終日の17時までの必着とします。》**	
選 抜 期 日	第一次選抜	**令和 4 年 9 月 23 日（金）**
	第二次選抜	**令和 4 年 10 月 8 日（土）**
	予　備　日	**令和 4 年 10 月 22 日（土）**
選抜方法等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「物理」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」…物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	**＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞** 面接に加えて機械工学に関係するグループ討論を実施して機械工学の素養を評価します。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配　　点	合計 600（ 第一次選抜 300，第二次選抜 300 ）	
選 抜 方 針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 グループ討論では，機械工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。面接では，機械工学に対する意欲や目的意識を特に問います。	
出 願 資 格	高等学校の工業に関する学科を卒業又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人で，次の条件を全て満たす人 ・学習成績概評がＡ段階以上の人 ・工業に関する科目を20単位以上修得又は修得見込みの人 （「工業に関する科目」とは，教科「工業」に属する科目のことを指します。）	
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人	
備　　考	１　『専門学科及び総合学科枠』に該当する人が，『全学科枠』を選択して出願することも可能です。ただし，『全学科枠』と『専門学科及び総合学科枠』の併願はできません。 ２　出願後は枠の変更はできません。 ３　合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については30ページを参照してください。） ４　宇宙・環境コース，知能・材料コース及び光電・精密コースへのコース分けを2年次末に行い，各コースへの配属は3年次の始めとなります。 ５　天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

【注】　「出願資格」欄の高等学校の工業に関する学科の指定については，高等学校の総合学科を含みます。

１　大学入学共通テストを課さない総合型選抜　１－（８）

学　　部	工学部	
学　　科	電気電子工学科	
募集人員	専門学科及び総合学科枠　３ 名	
出願期間	令和 4 年 9 月 1 日 （木） から 令和 4 年 9 月 7 日 （水） まで **《最終日の17時までの必着とします。》**	
選抜期日	第一次選抜	**令和 4 年 9 月 23 日（金）**
	第二次選抜	**令和 4 年 10 月 8 日（土）**
	予　備　日	**令和 4 年 10 月 22 日（土）**
選抜方法等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「物理」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」…物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	**＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞** 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配　　点	合計 600（ 第一次選抜 300，第二次選抜 300 ）	
選抜方針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，電気電子工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出願資格	高等学校の工業に関する学科を卒業又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人で，次の条件を全て満たす人 ・学習成績概評がＡ段階以上の人 ・工業に関する科目を20単位以上修得又は修得見込みの人 （「工業に関する科目」とは，教科「工業」に属する科目のことを指します。）	
出願要件	合格した場合，入学を確約できる人	
備　　考	1　『専門学科及び総合学科枠』に該当する人が『全学科枠』を選択して出願することも可能です。ただし『全学科枠』と『専門学科及び総合学科枠』の併願はできません。 2　出願後は枠の変更はできません。 3　合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については30ページを参照してください。） 4　情報エレクトロニクスコース及びエネルギー・電子制御コースへのコース分けを1年次末に行い，各コースへの配属は2年次の始めとなります。 5　天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

【注】 「出願資格」欄の高等学校の工業に関する学科の指定については，高等学校の総合学科を含みます。

１　大学入学共通テストを課さない総合型選抜　１－（９）

〔工学部　７／９〕

学　　部	工学部	
学　　科	電子物質科学科	
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠　３ 名	
出 願 期 間	令和 ４ 年 ９ 月 １ 日 （木） から 令和 ４ 年 ９ 月 ７ 日 （水） まで **《最終日の17時までの必着とします。》**	
選 抜 期 日	第一次選抜	**令和 4 年 9 月 23 日（金）**
	第二次選抜	**令和 4 年 10 月 8 日（土）**
	予　備　日	**令和 4 年 10 月 22 日（土）**
選抜方法等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「物理」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」…物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	**＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞** 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配　　点	合計 600（ 第一次選抜 300，第二次選抜 300 ）	
選 抜 方 針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，電子物質科学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出 願 資 格	高等学校の工業に関する学科を卒業又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人で，次の条件を全て満たす人 ・学習成績概評がＡ段階以上の人 ・工業に関する科目を20単位以上修得又は修得見込みの人 （「工業に関する科目」とは，教科「工業」に属する科目のことを指します。）	
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人	
備　　考	１　合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については30ページを参照してください。） ２　電子物理デバイスコース及び材料エネルギー化学コースへのコース分けを1年次末に行い，各コースへの配属は2年次の始めとなります。 ３　天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

【注】　「出願資格」欄の高等学校の工業に関する学科の指定については，高等学校の総合学科を含みます。

1　大学入学共通テストを課さない総合型選抜　1－(10)

学　　部	工学部	
学　　科	化学バイオ工学科	
募集人員	専門学科及び総合学科枠　2 名	
出願期間	令和 4 年 9 月 1 日 （木） から 令和 4 年 9 月 7 日 （水） まで **《最終日の17時までの必着とします。》**	
選抜期日	第一次選抜	**令和 4 年 9 月 23 日（金）**
	第二次選抜	**令和 4 年 10 月 8 日（土）**
	予　備　日	**令和 4 年 10 月 22 日（土）**
選抜方法等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「化学」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「化学」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「化学」…化学基礎・化学の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	**＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞** 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配　　点	合計 600（ 第一次選抜 300，第二次選抜 300 ）	
選抜方針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，化学バイオ工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出願資格	高等学校の工業に関する学科を卒業又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人で，次の条件を全て満たす人 ・学習成績概評がＡ段階以上の人 ・工業に関する科目を20単位以上修得又は修得見込みの人 （「工業に関する科目」とは，教科「工業」に属する科目のことを指します。）	
出願要件	合格した場合，入学を確約できる人	
備　　考	1　『専門学科及び総合学科枠』に該当する人が『全学科枠』を選択して出願することも可能です。ただし『全学科枠』と『専門学科及び総合学科枠』の併願はできません。 2　出願後は枠の変更はできません。 3　合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については30ページを参照してください。） 4　環境応用化学コース及びバイオ応用工学コースへのコース分けを1年次末に行い，各コースへの配属は2年次の始めとなります。 5　天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

【注】 「出願資格」欄の高等学校の工業に関する学科の指定については，高等学校の総合学科を含みます。

1　大学入学共通テストを課さない総合型選抜　1－(11)

学　　部	工学部	
学　　科	数理システム工学科	
募集人員	専門学科及び総合学科枠　2 名	
出願期間	令和 4 年 9 月 1 日（木）　から　令和 4 年 9 月 7 日（水）　まで **《最終日の17時までの必着とします。》**	
選抜期日	第一次選抜	**令和 4 年 9 月 23 日（金）**
	第二次選抜	**令和 4 年 10 月 8 日（土）**
	予　備　日	**令和 4 年 10 月 22 日（土）**
選抜方法等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「物理」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」…物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	**＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞** 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配　　点	合計 600（ 第一次選抜 300，第二次選抜 300 ）	
選抜方針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，数理システム工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出願資格	高等学校の工業に関する学科を卒業又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人で，次の条件を全て満たす人 ・学習成績概評がA段階以上の人 ・工業に関する科目を20単位以上修得又は修得見込みの人 （「工業に関する科目」とは，教科「工業」に属する科目のことを指します。）	
出願要件	合格した場合，入学を確約できる人	
備　　考	1　『専門学科及び総合学科枠』に該当する人が『全学科枠』を選択して出願することも可能です。ただし『全学科枠』と『専門学科及び総合学科枠』の併願はできません。 2　出願後は枠の変更はできません。 3　合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については30ページを参照してください。） 4　天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

【注】　「出願資格」欄の高等学校の工業に関する学科の指定については，高等学校の総合学科を含みます。

1　大学入学共通テストを課さない総合型選抜　1－(12)

学　　部	農学部	
学　　科	生物資源科学科	
募集人員	専門学科及び総合学科枠　12 名	
出願期間	令和 4 年 9 月 1 日 （木） から 令和 4 年 9 月 7 日 （水） まで **《最終日の17時までの必着とします。》**	
選抜期日	第一次選抜	**令和 4 年 9 月 23 日（金）**
	第二次選抜	**令和 4 年 10 月 8 日（土）**
	予　備　日	**令和 4 年 10 月 22 日（土）**
選抜方法等	第一次選抜	1　基礎学力を問う試験（「化学基礎」，「生物基礎」） （配点：100点×2） 2　小論文　（配点：20点） ［第一次選抜においては形式面のみを評価対象とします。内容については 第二次選抜における面接と合わせて評価します。］
	第二次選抜	**＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞** 面接（小論文の内容に対する質疑応答を含む）を行います。（配点：350点） ［配点のうち200点は第一次選抜で課した小論文の内容面の評価です。］
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配　　点	合計 570（ 第一次選抜 220，第二次選抜 350 ）	
選抜方針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，生物資源科学科で学ぶための農学の素養等を総合的に判断します。	
出願資格	高等学校の農業，工業，商業及び水産に関する学科を卒業又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人で，高等学校における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が３．８以上，もしくはこれに相当する成績を修めている人	
出願要件	合格した場合，入学を確約できる人	
備　　考	1　合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については30ページを参照してください。） 2　天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

【注】　「出願資格」欄の高等学校の農業，工業，商業及び水産に関する学科の指定については，高等学校の総合学科において，各々，該当する教科の科目を20単位以上修得又は修得見込みの人を含みます。

２　大学入学共通テストを課す総合型選抜 ２－(１)

学　部	理 学 部
学　科	地球科学科
募集人員	全学科枠　8 名
出願期間	令和 5 年 1 月 23 日 (月)　から　令和 5 年 1 月 31 日 (火)　まで **《最終日の17時までの必着とします。》**
選抜期日	令和 5 年 2 月 11 日 (土)

選抜方法等

1　志願者全員に面接（集団面接）を課します。（ 配点　200 ）

2　大学入学共通テストの成績と面接の結果を総合して選抜します。

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目（ 配点計 600 ）

３ 教 科 ５ 科 目

国語	地理歴史	公民	数学 ①	数学 ②	理科 ①	理科 ②	外国語
	地理歴史，公民						
			数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ・数学B／簿記・会計／情報関係基礎		物理／化学／生物／地学	英語（リスニングを含む）／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語
			必須	１つ選択(※1)		２つ選択	１つ選択 (※2)
配点			100	100		100×２	200

（※１）『簿記・会計』及び『情報関係基礎』を選択解答できる人は，高等学校等においてこれらの科目を履修した人に限ります。

（※２）○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）

○『英語』を選択した場合は，「リーディング100点満点」と「リスニング100点満点」をそれぞれ「リーディング150点満点」と「リスニング50点満点」に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング100点満点」を200点満点とします。

配点合計	800
選抜方針	大学入学共通テストにおいて，大学で学ぶに際して必要となる基礎学力，特に理数系科目と外国語の学力の達成度を判断します。 面接では，地球科学に関して興味のある分野や事柄，これまで熱心に行ってきた活動や体験，大学における学習計画，将来の抱負などを中心に質疑応答を行い，それらを通じて論理性や表現力，理解力などを評価します。
出願資格	次のいずれかに該当する人 （１）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人 （２）通常の課程による12年の学校教育を修了又は令和5年3月31日までに修了見込みの人 （３）学校教育法施行規則第150条※の規定により，高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人又は令和5年3月31日までにこれに該当する見込みの人 ※「学校教育法施行規則第150条の規定」は25ページを参照
出願要件	合格した場合，入学を確約できる人
備　考	

Ⅴ 出 願 手 続

1 出願期間《最終日の17時までの書類必着に限ります。》

大学入学共通テストを課さない総合型選抜
令和４年 ９月 １日（木）から令和４年 ９月 ７日（水）まで **《 インターネット出願登録期間 》** **令和４年８月25日（木）9時 ～ 令和４年９月７日（水）17時**

大学入学共通テストを課す総合型選抜
令和５年 １月 23 日（月）から令和５年 １月 31 日（火）まで **《 インターネット出願登録期間 》** **令和５年１月16日（月）9時 ～ 令和５年１月31日（火）17時**

2 出願方法

(1) 静岡大学インターネット出願サイトにて，上記出願期間内に出願してください。

(2) 出願書類を取り揃え，インターネットにて出願及び検定料の納入後に出力可能となる宛名票を貼付した封筒（市販の角形2号封筒(240×332㎜)）により，上記期間内に必着するように【書留速達】で期日を指定するなどして送付してください。
※検定料：17,000円

(3) 書類不備のものは受け付けません。また，提出された書類は返却しません。

3 出願先

学部	出願先	担当係	電話番号
人文社会科学部	〒422-8529　静岡市駿河区大谷836 静岡大学学務部入試課	人文社会科学部学務係	054-238-4217
農学部		農学部学務係	054-238-4815
理学部	〒422-8799　静岡南郵便局留 静岡大学入学試験事務室	理学部学務係	054-238-4861
情報学部	〒432-8561　浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学浜松地区入学試験事務室	情報学部教務係	053-478-1510
工学部		工学部教務係	053-478-1010

4 出願書類等　＜郵送による提出が必要な出願関係書類＞

1．インターネット出願サイトに登録後，出願サイトにて出力できる書類

1 出願確認票 （総合型選抜用）	（1）インターネット出願の際に入力した内容に誤りがないか確認してください。 （2）大学入学共通テストを課す総合型選抜への出願の場合は，大学入学共通テスト成績請求票（ **総合** **国公立総合型選抜用** ）を貼ってください。
2 受験票送付用封筒宛名ラベル	（受験票返送用） 確実に受験票が受け取れる住所の宛名ラベルを使用（出願時に登録した住所以外への送付を希望する場合は，右のラベルへ住所等を記入）し，市販の長形3号の封筒(120×235㎜)に貼付し，354円分の切手を貼ってください。 **※封筒は封はしないこと。**
3 出願封筒用宛名ラベル	（出願書類送付用） インターネット出願時に入力した内容と相違ないか確認し，出願書類及び注意事項を確認のうえ，市販の角形2号の封筒（240×332㎜）に貼付し，出願書類を入れて送付してください。

２．本学学部入試ウェブサイトよりダウンロードして準備する書類

（学部入試サイト：https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/index.html）

１ 自己推薦書	志願者本人が自筆で記入してください。（ボールペンまたは万年筆） 自己推薦書の注意書きの指示に従ってください。
２ 課題レポート	（**人文社会科学部 経済学科に出願する人のみ，提出してください。**） 志願者本人が自筆で作成してください。（ボールペンまたは万年筆）

３．その他，出願に必要な書類

１ 調 査 書 等	ア　在籍（又は在籍した）学校の長が令和4年4月以降に作成したもの 【注】厳封したものを提出してください。 イ　廃校，被災その他の事情により在籍（又は在籍した）学校の長が作成する「調査書」が得られない場合は，調査書を準備できない理由書と卒業証明書・成績通信簿・その他，入学志願者が提出できる書類 ウ　本人が被災した場合により上記イの書類を整えられない場合は，在籍（又は在籍した）学校を所管する教育委員会，知事又は在籍（又は在籍した）学校の長が作成したこれに関する証明書 エ　高等学校卒業程度認定試験合格者は，合格証明書（又は合格証書のコピー）及び合格成績証明書 オ　高等学校卒業程度認定試験合格見込みの人は，調査書及び科目合格成績証明書又は令和4年度高等学校卒業程度認定試験を受験し，出願時が合格発表前である場合は，受験科目名を記載した任意の資料
２ 合格証明書類	（**人文社会科学部 経済学科に出願する人のみ，提出してください。**） 次の（ア）～（ウ）のうち２つ以上の合格を証明できる書類（合格証書のコピー） （ア）日商簿記２級以上又は 全商簿記１級（会計（商業簿記を含む）又は原価計算） （イ）英検準２級以上 （ウ）経済産業省基本情報処理技術者試験又は 全商情報処理検定１級（ビジネス情報部門又はプログラミング部門）
３ 高等学校の成績通信簿	（**情報学部 情報科学科に出願する人のみ，提出してください。**） 成績通信簿（１・２・３年次）のコピー（任意）

Ⅵ 出願上の注意

1　「大学入学共通テストを課す総合型選抜」への出願は，令和5年度大学入学共通テストで，本学が指定した教科・科目を受験していることが必要です。

2　本学の「総合型選抜」で不合格となった場合に備えて，一般選抜志願者として「前期日程試験」及び「後期日程試験」に出願することができます。
ただし，本学の総合型選抜で入学手続きをした場合は，一般選抜を受験しても合格者とはなりません。

3　本学の「総合型選抜」と本学の「学校推薦型選抜」，他の国公立大学の「総合型選抜及び学校推薦型選抜」との併願（併願とは，同時期に複数の選抜に出願することで，一方の合否が決定した後に出願する場合を除きます。）ができます。**ただし，本学の「総合型選抜」と「学校推薦型選抜」はそれぞれ「合格した場合に入学を確約できる」ことを求めています。**

4　本学の「大学入学共通テストを課さない総合型選抜」において，複数の学部に出願することはできません。

5　他の国公立大学に入学手続きをした場合は，速やかに本学に連絡してください。

6　「**学校教育法施行規則第150条**」の規定内容

1　外国において学校教育における12年の課程を修了した人及び令和5年3月31日までに修了見込みの人またはこれに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの

2　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和5年3月31日までに修了見込みの人

3　専修学校の高等課程（修学年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した人及び令和5年3月31日までに修了見込みの人

4　文部科学大臣の指定した人

5　高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第１号)により，文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した人（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号)に基づく大学入学資格検定に合格した人を含む。)及び令和5年3月31日までに合格見込みの人で，令和5年3月31日までに18歳に達するもの

6　学校教育法第90条第２項の規定により大学に入学した人であって，当該者をその後に入学させる大学において，大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

7　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で，令和5年3月31日までに18歳に達するもの

7　学校教育法施行規則 第150条第４号に基づくＧＣＥＡレベルの入学資格により出願しようとする場合の科目数や評価等は，以下のとおりです。

学部	科目数･評価等
人文社会科学部	･Aレベル試験3科目 ･ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお，ASレベル試験のみは不可とします。 ･成績は合格(E評価以上)のものに限ります。
教育学部	･Aレベル試験3科目 ･ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ･成績は合格(E評価以上)のものに限ります。
情報学部	･Aレベル試験3科目以上 ･ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお，ASレベル試験のみは不可とします。 ･成績は合格(E評価以上)のものに限ります。 ･情報科学科では数学，行動情報学科では数学及び心理に関する科目を含むものとします。(すべてAレベル試験)
理学部	･Aレベル試験1科目以上 ･ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ･成績は合格(E評価以上)のものに限ります。
工学部	･Aレベル試験3科目以上 ･ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお，ASレベル試験のみは不可とします。 ･成績は合格(E評価以上)のものに限ります。 ･数学及び理科(物理又は化学)に関する科目を含むものとします。
農学部	･Aレベル試験1科目 ･ASレベル試験は不可とします。 ･成績は合格(E評価以上)のものに限ります。 ･理科(物理，化学又は生物)に限ります。

8　学校教育法施行規則 第150条第７号で出願しようとする人は，出願資格の審査が必要です。出願期間開始２週間前までに本学入試課に連絡してください。

Ⅶ 選 抜 日 時

大学入学共通テストを課さない総合型選抜			
人文社会科学部		令和 4 年 10 月 8 日（土）	10：00～
	予 備 日	令和 4 年 10 月 22 日（土）	10：00～
情 報 学 部	第一次選抜	令和 4 年 9 月 23 日（金）	9：00～
工 学 部	第二次選抜	令和 4 年 10 月 8 日（土）	9：00～
農 学 部	予 備 日	令和 4 年 10 月 22 日（土）	9：00～

※天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日を含めた日程に繰下げて実施します。

大学入学共通テストを課す総合型選抜		
理 学 部	令和 5 年 2 月 11 日（土）	9：00～

Ⅷ 試 験 場

学 部	実施場所	所 在 地	交 通 機 関
人文社会科学部	静岡大学 人文社会科学部	静岡市駿河区 大谷836	〈しずてつジャストラインバス〉美和大谷（みわおおや）線 ＪＲ東海 静岡駅北口ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ ⑧番Ｂのりばから 『静岡大学』行き →「静岡大学」 下車 『静岡大学経由 東大谷』行き →「静岡大学」 下車 『静岡大学経由 ふじのくに地球環境史ﾐｭｰｼﾞｱﾑ』行き →「静岡大学」 下車 上記以外の『東大谷』行き →「片山」 下車 上記以外の『ふじのくに地球環境史ﾐｭｰｼﾞｱﾑ』行き →「片山」 下車 ○ バス乗車所要時間：約30分 「静岡大学」下車：試験場まで徒歩約５分～15分 「片山」 下車：試験場まで徒歩約15分～25分
理 学 部	静岡大学 理 学 部		
農 学 部	静岡大学 農 学 部		
情 報 学 部	静岡大学 情報学部	浜松市中区 城北3-5-1	〈遠鉄バス〉 ＪＲ東海 浜松駅北口ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ ⑮または⑯番のりばから 『気賀･三ヶ日･奥山』行き等 全路線 →「静岡大学」 下車 ○ 全所要時間：約20分
工 学 部	静岡大学 工 学 部		

注１）試験場までの所要時間は交通事情により異なりますので，十分な余裕をもって出かけてください。また，天候不良や事故等により，利用予定の交通機関に乱れが生じるおそれのある場合には，受験に支障のないよう少しでも早く受験地に到着するようにしてください。

注２）定期運行している交通機関の事故等により，各試験で定められた集合時刻に間に合わない場合は，直ちに，**23ページの「３ 出願先」の担当係**に連絡するとともに，交通機関において，これを証明する書類の交付を受けてください。

注３）試験開始（理学部は集合時刻から）30分以上の遅刻者の受験は原則として認められません。ただし，志望する学部より別途指示がある場合には，この限りではありません。なお，上記注２による遅刻者は，本学が定める基準により，受験を認めることがあります。

注４）人文社会科学部，情報学部（第一次選抜），工学部（第一次選抜），農学部（第一次選抜）については，全ての試験を受験してください。**一部のみの受験は認められません。**

注５）地震等の災害，天候不良及び交通機関の事故等により，所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は，試験開始時刻の繰り下げ等の措置を行うことがあります。
措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。

注６）理学部受験者は，試験当日，本学の『受験票・写真票』とともに，『大学入学共通テスト受験票』を必ず持参してください。

Ⅸ 合 格 発 表

1　下記の日時・場所に，掲示するとともに，それぞれの受験者全員に郵送にて通知します。

大学入学共通テストを課さない総合型選抜		
人文社会科学部	令和 4 年 11 月 1 日（火）　16：00	共通教育Ｌ棟掲示板 （静岡キャンパス）
農学部	**第一次選抜** 令和 4 年 9 月 30 日（金）　16：00	
	最終合格発表 令和 4 年 11 月 1 日（火）　16：00	
情報学部 工学部	**第一次選抜** 令和 4 年 9 月 30 日（金）　16：00	学生支援棟掲示板 （浜松キャンパス）
	最終合格発表 令和 4 年 11 月 1 日（火）　16：00	共通教育Ｌ棟掲示板 （静岡キャンパス） 学生支援棟掲示板 （浜松キャンパス）

大学入学共通テストを課す総合型選抜		
理学部	令和 5 年 2 月 14 日（火）　10：00	共通教育Ｌ棟掲示板 （静岡キャンパス）

2　本学学部入試ウェブサイトにも「合格者受験番号リスト」を掲載します。（第一次選抜を除く）
閲覧できる期間は，合格発表日時から入学手続日までです。

［学部入試ウェブサイト］　　https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/

3　情報学部，工学部，農学部において，第一次選抜期日を変更した場合は，第一次選抜合格発表日も変更します。

※ 受験票・写真票についての注意

(1) **受験票・写真票**は，インターネット出願時に入力したデータを基に作成します。

(2) **受験票・写真票**及び受験上の注意等を，**大学入学共通テストを課さない総合型選抜は令和4年9月15日（木）頃**までに，**大学入学共通テストを課す総合型選抜**は**令和5年2月6日（月）頃**までに，志願者あてに**【 速達 】**で郵送します。届かない場合は，至急，入試課まで連絡してください。

(3) 届いた**受験票・写真票**の記載事項を確認し，誤りがあった場合は，至急，入試課まで連絡してください。

(4) **受験票・写真票**の写真欄に写真（４㎝×３㎝，白黒・カラーいずれでも可）を貼って，試験日当日に持参してください。**受験票・写真票**は切り離さないでください。

※ 検定料の返還等について

払込後の入学検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

１　検定料の返還請求ができる場合

①検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合
②検定料を二重に払い込んだ場合
③出願書類，出願要件に不備があり，出願が受理されなかった場合
④出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

２　返還する検定料の金額

志願者本人の申し出により，上記１の①から③については 17,000円（ただし，返還に係る振込手数料は，請求者の負担とします。），④については「静岡大学授業料等料金体系規則」に基づき，13,000円を返還します。

３　返還請求の方法

上記１の①または②に該当する場合は，便せん等を使って，次の１～９を明記した検定料返還請求書を作成して，必ず「インターネット出願 出願データ登録完了メール」または「入金確認メール」を印刷したものを添付して，令和5年2月27日(月)［必着］までに静岡大学入試課（〒422-8529 静岡市駿河区大谷836)へ郵送してください。
期限を過ぎての返還請求は受け付けません。

また，③の場合は出願書類返却時に，④の場合は出願無資格となった理由等の通知時に「検定料返還請求書」を同封しますので，必要事項を記入のうえ郵送してください。

静岡大学入学検定料返還請求書

1　返還請求の理由
2　選抜区分（総合型選抜）
3　整理番号
4　志望しようとした学部名
5　氏名（フリガナ）
6　現住所
7　連絡先電話番号
8　返還請求額（17,000円）
9　返還金振込先　・金融機関名（金融機関コード），支店名（支店コード）
　　・預金種別（当座・普通），口座番号
　　・口座名義人（フリガナ）
　　・口座名義人が志願者と異なる場合は，志願者との続柄

＜大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料等の特別措置について＞
大規模災害に被災した志願者の入学検定料等について，志願者からの免除申請に基づき入学検定料等の全額を免除します。
詳しくは，静岡大学学部入試専用サイト（https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/）をご覧ください。

☆ 入 学 手 続（概 要）

入学手続に関する詳細は，合格者に別途通知します。

<table>
<tr><td colspan="2"></td><td>【共通テストを課さない総合型選抜】</td><td>【共通テストを課す総合型選抜】</td></tr>
<tr><td colspan="2">学　部　等</td><td>人文社会科学部，情報学部，工学部，農学部</td><td>理学部</td></tr>
<tr><td colspan="2">入学手続方法</td><td colspan="2">入学手続は，原則として郵送「書留速達」とします。
（手続締切日の17時必着）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入学手続締切</td><td>令和 4 年 11 月 11 日（金）</td><td>令和 5 年 2 月 19 日（日）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">納付金の納入</td><td>入　学　料</td><td colspan="2">282,000 円</td></tr>
<tr><td>授　業　料
〔令和4年度実績額〕</td><td colspan="2">半期分　267,900 円
（年　額　535,800 円）</td></tr>
<tr><td colspan="3">【注】１ 前期分の授業料は，令和5年4月1日から同年4月28日までに納入してください。
２ 入学料はいかなる理由があっても返還しません。
３ 本学では，文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
４ 在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">留 意 事 項</td><td colspan="2">１ 入学手続きの際は，『大学入学共通テスト受験票』（大学入学共通テストを課す総合型選抜を受験した人に限る。）が必要となります。
２ 総合型選抜合格者が特別の事情により入学を辞退しようとするときは，その理由を明記した入学辞退届（様式自由：本人が署名して保護者が署名・押印したもの。）を，入学手続期限の前日までに提出し，入学辞退の許可を得ることが必要となります。
３ 総合型選抜合格者は，本学の定める手続きにより入学を辞退した場合を除き，一般選抜（前期日程・後期日程）を受験しても合格者とはなりません。</td></tr>
</table>

《 ノート型パーソナルコンピュータの共同購入について 》

次の学部では，パーソナルコンピュータの利用が必須となりますので，入学時に各学部の選定機種（下記予定価格，ソフトを含む）の共同購入を推奨しています。
詳細は，合格者に連絡をしますが，予めご案内します。（問い合わせは，各学部までお願いします。）

○ 情報学部　税込み20万円程度
○ 工学部　税込み19万円程度

☆「入学前準備教育」について

『大学入学共通テストを課さない総合型選抜』合格者に対する「入学前準備教育」について

大学入学共通テストを課さない総合型選抜は，11月には合格が決まります。でも，入学までの残り５か月間をムダに過ごしてしまうと，入学後すぐにつまずいてしまうことになり，せっかくスタートした大学生活がつまらないものになってしまいます。ほかの受験生より，ひと足早く合格できて良かったのではなく，ひと足早く大学生活の準備を始めるチャンスを得たと考えましょう。

静岡大学では，大学入学共通テストを課さない総合型選抜合格者に，入学までの５か月間を有意義に過ごしていただくための「入学前準備教育」をご用意します。ひとりでも多くの合格者が受講されることをお勧めします。

◆ 合格から入学までの流れ（一部予定を含みます。）

令和4年11月 1日（火）：合格発表日
令和4年11月11日（金）：入学手続期限
令和4年12月10日（土）：「プレ入学　オリエンテーション」（静岡キャンパスで実施予定）
令和4年12月11日（日）：「プレ入学　オリエンテーション」（浜松キャンパスで実施予定）
令和4年12月～令和5年3月：入学前準備教育（通信添削等を活用します。）

注：「プレ入学　オリエンテーション」は希望者参加で，強制ではありません。詳細は入学手続書類に同封します。

◆ 入学前準備教育の内容に関して（一部，変更になることがあります。）

・ 事前に教材等をお送りします。自学自習していただき，提出していただいた確認テストやレポート等を添削指導します。
・ 教材は，大学入学後に必要となる数学や物理の基礎学力を養成するもの，大学生に求められる分析力や表現力を養成するものなど複数をご用意する予定です。
（各学部学科によって内容は異なります。）

◆ 受講対象者

大学入学共通テストを課さない総合型選抜で合格された方の中で，入学前準備教育を希望される方に実施します。

ただし，**工学部及び農学部の合格者は，入学前準備教育を受講していただくことを原則とします。**（強制ではありませんので，入学前準備教育を受講しなくても合格が取り消されるようなことはありません。）

◆ 費用

受講費は受講者本人の負担となります。１講座あたり20,000円前後。各学部学科により，１講座ないし２講座になりますので，20,000円～40,000円になる予定です。また，「プレ入学オリエンテーション」（13時開始，16時終了予定）に参加するための交通費等も参加者の負担になります。

☆ 総合型選抜　Ｑ＆Ａ

全学共通　Ｑ＆Ａ

Ｑ１　総合型選抜とは，どのような選抜方法ですか？
Ａ１　学力検査に偏ることなく，書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって，受験生の能力・適性や学習に対する意欲，目的意識等を総合的に判定するきめ細かな選抜方法です。また，一定の条件を満たす限り，誰でも自らの意志で出願できる公募型自己推薦選抜です。

Ｑ２　総合型選抜の特色を教えてください。
Ａ２　筆記試験の結果だけでなく自己ＰＲ，志望学科で学ぶ意欲・適性等を評価しますので，進みたい道への意欲や経験をありのまま表現してください。

Ｑ３　専門学科や総合学科でも，出願できますか？
Ａ３　はい。できます。
人文社会科学部経済学科，情報学部情報科学科，工学部各学科及び農学部生物資源科学科には『専門学科及び総合学科枠』があります。

Ｑ４　総合型選抜と学校推薦型選抜に併願できますか？
Ａ４　はい。できます。ただし，本学の「総合型選抜」と「学校推薦型選抜」はそれぞれ「合格した場合に入学を確約できる」ことを求めています。
静岡大学では「多様な選抜」で「多様な人材」を求めています。

Ｑ５　総合型選抜で入学した場合，他の選抜で入学した学生と入学後の学習に違いがありますか？
Ａ５　学習プログラムに違いはありません。
基礎学力を補うためのプログラムや指導教員体制を完備しています。

Ｑ６　今年度，高等学校卒業程度認定試験に合格したのですが，受験できますか？
Ａ６　理学部及び工学部の化学バイオ工学科と数理システム工学科の『全学科枠』で出願できます。

人文社会科学部　Ｑ＆Ａ

Ｑ１　聴講・論述試験では，講義について特に準備しておくことがありますか？
Ａ１　いいえ，特に準備する必要はありません。講義は大学の教員が行い，その聴講した内容についての論述試験を課します。

情報学部 Ｑ＆Ａ

Ｑ１　どんな人が出願できますか？
Ａ１　「出願資格」欄に示した資格を満たす人なら誰でも出願できます。是非，自己推薦してください。

Ｑ２　成績通信簿の提出が任意になっていますが，提出しないために不利になるようなことはありませんか？
Ａ２　成績通信簿は面接の参考として用います。この資料によって，普段の活動状況など高校在学中の活動をよりきめ細かに，かつ多面的に評価することが可能となり，受験者の潜在能力を含め，より客観的な評価ができるものと考えております。
　ただし，あくまでも参考資料ですので，提出しないことによって不利になることはありません。

Ｑ３　面接に対してなにか準備が必要でしょうか？ またどんな点が評価されるのでしょうか？
Ａ３　面接では，情報科学に関して興味のある分野や事柄，これまで熱心に行ってきた活動や体験，大学における学習計画，将来の抱負などを中心に質疑応答を行います。また，それらの質疑応答を通じて論理性や表現力，理解力などを評価します。

Ｑ４　基礎学力を問う試験に「『数学』もしくは『数学・情報』」とありますが，数学と情報の両方を勉強しておかなければ不利になるでしょうか？
Ａ４　そのようなことはありません。『数学』を選択していれば数学の問題のみが出題されます。『数学・情報』では『数学』の問題の一部(配点の約３分の１)が情報の問題に置き換わっています。どちらで受験するかは試験問題を見てから決めることができます。

Ｑ５　専門学科や総合学科（以下，専門学科等）の英語の学習内容でも基礎学力を問う試験に対応できますか？
Ａ５　試験問題自体は専門学科等の生徒を前提として作られていますので，高等学校在学中に高等学校の教科書で学習する範囲の英語の文法や語彙をしっかり身につけておけば心配することはありません。しかし，専門学科等は英語の授業時間が普通高校より少ないので，入学後に英語の授業で若干苦労している専門学科等出身の学生もいるようです。第一次選抜では英語の試験がありますので，これに向けて夏休みは英語を集中的に勉強してください。合格後も英語の勉強を怠らずに，他の受験生のように大学入学共通テストや一般選抜の英語を受験するつもりで学習に勤しむとよいでしょう。

理学部 Ｑ＆Ａ

Ｑ１　総合型選抜では，大学入学共通テストの成績をどのような基準で見るのですか？
Ａ１　一般選抜では５教科７科目にわたる総合的学力を見ますが，総合型選抜では特に理数系科目と外国語の基礎学力を重視します。

Ｑ２　総合型選抜では特にどのような学生を求めているのでしょうか？
Ａ２　地球科学は理学の中でも総合的な学問ですから，数学，物理，化学，生物といった理数系科目の基礎をしっかりと習得したうえで，積極的に地球科学研究の最前線で学び，卒業研究に取り組もうという意欲的な学生を求めています。

Ｑ３　面接では何をするのですか？
Ａ３　面接では，地球科学に関して興味のある分野や事柄，これまで熱心に行ってきた活動や体験，大学における学習計画，将来の抱負などを中心に質疑応答を行います。また，それらの質疑応答を通じて論理性や表現力，理解力などを評価します。

工学部 Ｑ＆Ａ

Ｑ１　特別な資格があると受験に有利なのでしょうか？
Ａ１　学科の専門に関連した資格であれば，選考の際に考慮することがあります。しかし，特定の資格の有無が合否の条件とはなりません。

Ｑ２　高等学校を卒業して，数年たつのですが総合型選抜を受験できますか？
Ａ２　大学入学資格を有する人（出願資格を参照）で，アドミッション・ポリシーにあてはまれば，誰でも出願できます。

機械工学科

Ｑ３　どういう選抜方法ですか？
Ａ３　大学入学共通テストを課さないで，基礎学力試験（英語・数学・物理），面接，グループ討論，出願書類により総合的に評価して合格者を決定します。

Ｑ４　面接ではどのような点が評価されるのでしょうか？
Ａ４　面接では，主に機械工学や科学技術に関する関心・知識・経験，それらとアドミッション・ポリシーや日本技術者教育認定機構（JABEE）の学習・教育到達目標との関連等について質問します。これらの質問を通して，機械工学に対する意欲や目的意識，的確に自分自身を表現する能力を評価します。（機械工学科が設定している学習・教育到達目標については，学科のホームページをご覧ください。https://newmech.eng.shizuoka.ac.jp/

Ｑ５　グループ討論ではどのような点が評価されるのでしょうか？
Ａ５　グループ討論では，機械工学に関係するテーマを設定して討論を行い，論理的思考力・表現力・積極性等を総合的に評価します。

電気電子工学科

Ｑ６　どういう選抜方法ですか？
Ａ６　大学入学共通テストを課さないで，基礎学力試験（英語・数学・物理），面接（口頭試問を含む）及び出願書類により合格者を決定します。

Ｑ７　面接に対して何か準備が必要でしょうか？また，どんな点が評価されるのでしょうか？
Ａ７　積極性・学習意欲，知的好奇心，コミュニケーション力等，当学科で勉学するにあたっての適性を総合的に評価します。また，面接の中で数学や物理等の理解力を確認するために口頭試問を行います。しかし，高等学校で扱う範囲の学習をしていれば特別な準備は必要ありません。

電子物質科学科

Q８　どういう選抜方法ですか？
Ａ８　『専門学科及び総合学科枠』のみを設け，大学入学共通テストを課さないで，基礎学力試験（英語・数学・物理），面接（口頭試問を含む）及び出願書類により合格者を決定します。

Q９　推薦書は必要ですか？
Ａ９　自己推薦書を提出してください。当学科で学ぶ意欲や目的意識を含んだ内容としてください。

Q10　面接に関して何か準備が必要でしょうか？
Ａ10　エレクトロニクスや化学に関する知的好奇心とコミュニケーション能力等，当学科で勉学するにあたっての適性を総合的に判断します。高校で扱う範囲の学習をしっかりしておいてください。

化学バイオ工学科

Q11　どういう選抜方法ですか？
Ａ11　大学入学共通テストを課さないで，基礎学力試験（英語・数学・化学），面接（口頭試問を含む）及び出願書類により総合的に評価して合格者を決定します。

Q12　推薦書は必要ですか？
Ａ12　自己推薦書を提出してください。

数理システム工学科

Q13　どういう選抜方法ですか？
Ａ13　大学入学共通テストを課さないで，基礎学力試験（英語・数学・物理），面接（口頭試問を含む）及び出願書類により総合的に評価して合格者を決定します。

Q14　面接ではどのような点が評価されるのでしょうか？
Ａ14　面接では一般的な質問に加え，アドミッション・ポリシーに従った質問をします。これらの質問をとおして，基礎学力を応用できる能力や的確に自分自身を表現できる能力を評価します。

農学部　Ｑ＆Ａ

Q１　どういう選抜方法ですか？
Ａ１　大学入学共通テストを課さないで，基礎学力試験（化学基礎・生物基礎）及び小論文，その小論文の内容に対する質疑応答を含む面接，更に出願書類を総合的に評価して合格者を決定します。

Q２　推薦書は必要ですか？
Ａ２　自己推薦書を提出してください。高等学校等で課題研究に取り組んできた人は，その内容や得られた成果についても書いてください。

Q3　面接ではどのような点が評価されるのでしょうか？
Ａ3　面接では，自己推薦書に基づいて志望動機，大学に入ってやりたいこと，将来の夢などを語ってもらいます。また，自分がこれまで取り組んできた課題研究があれば，それについて説明してもらいます。面接を通して，本学科で学ぶ適性，意欲，社会問題への関心，理解力，着眼点及び自分の意見を表現する力を評価します。

☆ 学生生活

1　入学料・授業料の減免，給付奨学金

【修学支援新制度】

入学料・授業料減免及び給付奨学金支給を行う制度です。

(1) 申込みに係る要件

・日本国籍，法定特別永住者，永住者等又は永住の意思が認められる定住者であること。
・高等学校等を卒業してから２年の間までに大学等に入学を認められ，進学した者であって，過去において本制度の支援措置を受けたことがないこと。
・保有する資産が一定の水準を超えていないこと（申告による）。

(2) 学業などに係る要件

この支援制度の目的は，支援を受けた学生が大学等でしっかり学んだ上で，社会で自立し，活躍できるようになることです。

明確な進路意識と強い学びの意欲や進学後の十分な学修状況をしっかりと見極めた上で学生に対して支援を行います。

給付奨学金は，進学する前年の４月下旬から，高校などを通じて日本学生支援機構へ申し込むことができます。（月額は，下記「３　日本学生支援機構奨学金」の「給付奨学金」を参照）

入学料・授業料減免は，入学時に，申し込みを行います。

文部科学省ウェブサイト　　https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm

窓口：学生生活課奨学係　TEL 054-238-4460，5611（8:30～12:30,13:30～17:15）

2　入学料の徴収猶予

学業成績優秀で経済的に困難なため納付期限までに入学料の納付が困難な人に対しては，本人の申請に基づき選考のうえ，入学料の徴収を猶予することがあります。

窓口：学生生活課奨学係　TEL 054-238-4460，5611（8:30～12:30,13:30～17:15）

3　日本学生支援機構奨学金

学業成績が優秀で，経済的理由により修学困難な人には，申請に基づき選考のうえ，採用された場合は，日本学生支援機構から次の奨学金が貸与または給付されます。

窓口：学生生活課奨学係　TEL 054-238-4460，5611（8:30～12:30,13:30～17:15）

<table>
<tr><td rowspan="3">貸与</td><td rowspan="3">第一種奨学金
（令和４年度採用者月額実績）</td><td colspan="2">30,000 円・20,000 円</td></tr>
<tr><td>自宅通学</td><td>45,000 円</td></tr>
<tr><td>自宅外通学</td><td>51,000 円・40,000 円</td></tr>
<tr><td></td><td>第二種奨学金
（返還時，年３％を上限とする利子付き）</td><td colspan="2">月額２～12万円（１万円刻み）から選択できます。
（貸与期間中に必要に応じて貸与月額を変更することが可能です。）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">給付奨学金</td><td>自宅通学</td><td>9,800 円・19,500円・29,200円</td></tr>
<tr><td>自宅外通学</td><td>22,300円・44,500円・66,700円</td></tr>
<tr><td colspan="2">給付月額は，家計収入により判定されます。</td></tr>
</table>

上記の他，財団・地方公共団体等の育英奨学団体があり，奨学金の貸与または給付の制度があります。

4　アパート・マンション　ひとり暮らし

静岡大学生活協同組合が，静岡地区及び浜松地区のアパート・マンションを紹介しています。また，物件の情報は同生協ホームページにて公開されています。「入学準備説明会」や「アパート仮予約」に関する情報も後日公開します。（12月中旬ころ更新予定）

静大生のアパート・マンション情報はこちらのウェブサイトをごらんください。
静岡大学生活協同組合　アパート・マンション紹介サイト
https://www.shizuokaunivcoop.com/

＜物件紹介先＞

[静岡]住まい事業部　Tel 054-237-7067（11:00～15:00　土日祝祭日休み）
[浜松]住まい事業部　Tel 053-412-5255（11:00～16:15　土日祝祭日休み）
＊ 最新の営業時間は静岡大学生協ホームページにてご確認ください。

☆ 寮生募集

学寮は，学生に対する経済援助だけでなく，集団生活を通じて社会人としての人間形成に資することを目的として設置されています。

静岡地区に**片山寮**（男子寮，女子寮），浜松地区に**あかつき寮**（男子）及び**あけぼの寮**（女子，留学生）があり，それぞれ定員に空きがある場合に，入寮希望者を選考の上，入寮を許可します。

入寮を希望する人は，下記３の取得方法により，「入寮生募集要項」を取得してください。

※記載内容に変更が生じることがあります。学生寮の最新情報は本学ウェブサイトをご覧ください。

＜手続き日程＞

１．要項取得期間　　令和5年1月18日(水)～**2月17日(金)**

２．入寮申込期間　　令和5年2月13日(月)～**2月24日(金)　消印有効**

３．取得方法

上記１の要項取得期間中は，**本学ウェブサイト**から取得（印刷）可能です。

ウェブサイトから取得できない場合は，以下へご連絡ください。

（連 絡 先）

〒422-8529　静岡市駿河区大谷836

静岡大学　学務部　学生生活課（学寮担当）　　TEL 054-238-4461

（注１）入寮申し込み期限は，**令和5年2月24日(金)消印有効**です。

（注２）応募書類として，両親の所得証明書（**市区町村発行**のもの）が必要です。

＜学寮紹介＞

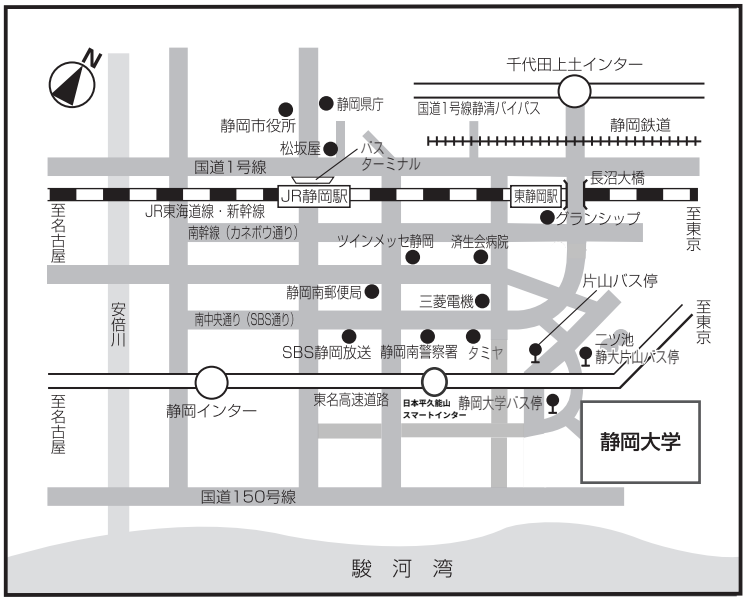
	所在地・立地	建物構造	通　学	寮　費　（月額）	特　色
片山寮	〒422-8531 静岡市駿河区大谷836 静岡大学　片山寮 TEL 054-237-0100 大学の敷地内にあり，駿河湾を見下ろす日本平の西麓に位置し，風光明媚で通学に最適。	鉄筋コンクリート ５階建 収容人員 男子寮288名 女子寮228名 各室４人部屋 1室33㎡ 1人当たり約4.5畳	徒歩　10分	寄宿料　700円 食費(2食)　7,413円 公共料金　8,590円 （光熱水料・ネット料） 経常費　900円 寮食調理人人件費 4,300円 合計　21,903円	男女共用の食堂を境にして，男子寮と女子寮とが別棟になっています。 寮自治会の運営により，入寮式・寮祭・卒寮式等の行事の他，寮内サークル等も活発に行われています。
あかつき寮	〒432-8018 浜松市中区蜆塚3-22-1 TEL 053-453-0521 大学のグラウンド及びあけぼの寮に隣接し，近くに佐鳴湖がある閑静な住宅街で環境が良く，スーパーも近い。	鉄筋コンクリート ４階建 収容人員 男子のみ164名 各室2人部屋 1室15㎡ 1人当たり約4.5畳 （各室に机，椅子，ベッド，エアコンの設置あり）	徒歩　20分 自転車 10分	寄宿料　6,000円 食費(2食)　8,500円 光熱水料　5,300円 ネット料　1,700円 経常費他　500円 寮食調理人人件費 2,000円 合計　24,000円 ＋自室の電気使用料	自由啓発を寮風に，自主的・民主的な寮生活は「やらまいか精神」の浜松にあって，探求心を培う場ともなっています。 寮自治会の運営により，入寮式・卒寮式その他レクリエーション行事等が活発に行われ，強い人間関係も築かれています。
あけぼの寮	〒432-8018 浜松市中区蜆塚3-22-1 TEL 053-478-1670 （浜松学生支援課 学生支援係） 大学のグラウンド及びあかつき寮に隣接し，近くに佐鳴湖がある閑静な住宅街で環境が良く，スーパーも近い。	鉄筋コンクリート ５階建 収容人員 日本人女子46名 外国人留学生 （男女）44名 身体障害者 1名 個室（1K）15㎡ （机，椅子，ベッド，トイレ浴室，ミニキッチン〔ＩＨコンロ〕，冷蔵庫，エアコンの設置あり）	徒歩　20分 自転車 10分	寄宿料　15,000円 （共益費を含む） 光熱水料は各自契約 寮の食事はありません 退去時清掃費 19,800円	日本人女子学生と留学生が生活を通じて相互理解を深めるための寄宿舎です。１，２階は留学生男子，３～５階は留学生女子と日本人女子が入居する個室タイプです。

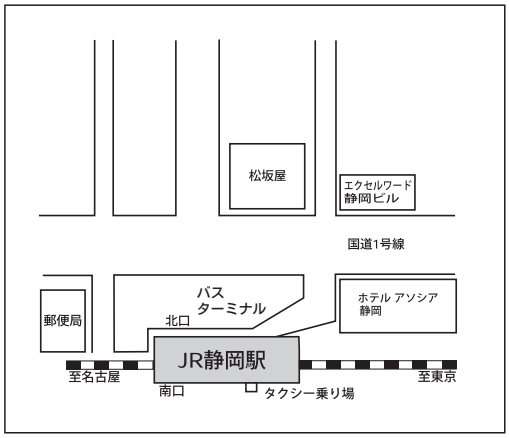
（注）寮費の月額は，令和4年4月現在のものです。

静岡キャンパスの雄萠寮は，入寮生募集をしておりません。

静岡大学静岡キャンパス

人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部



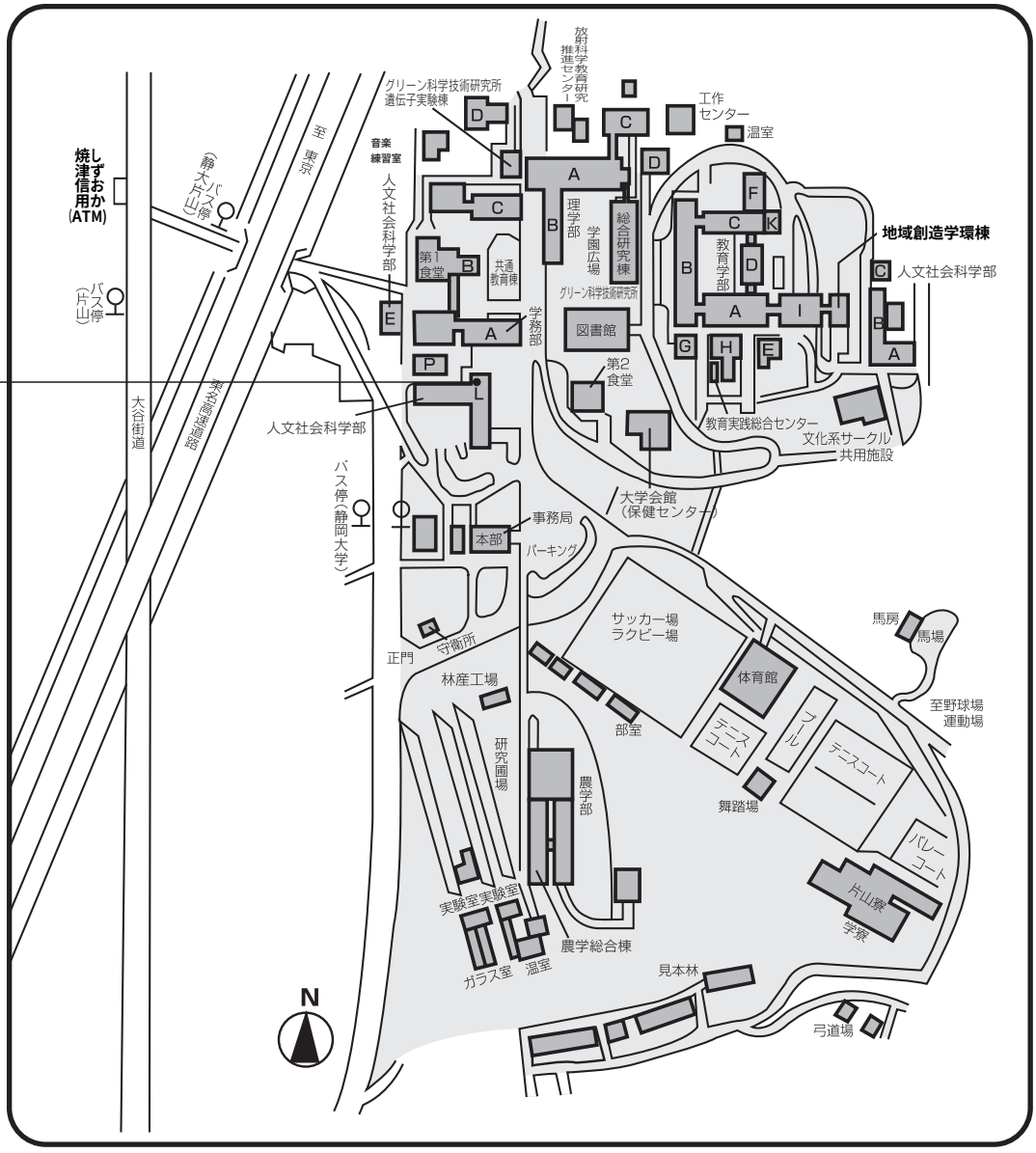


■静岡キャンパスへの交通案内

1．JR静岡駅前北口バスターミナルからしずてつジャストラインバス８番Ｂ乗り場（静岡大学行き、東大谷行きまたはふじのくに地球環境史ミュージアム行き）に乗車し「静岡大学」または「片山」下車
（所要時間約30分）

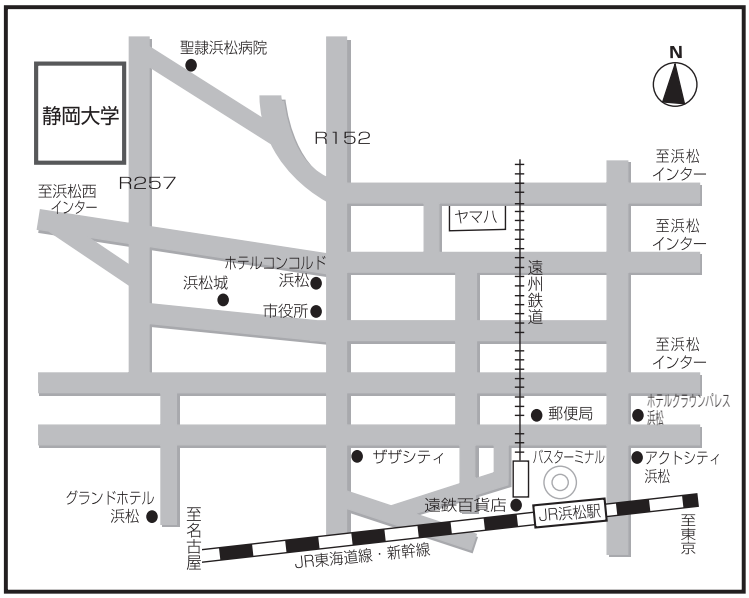
2．JR静岡駅からタクシーで約20分

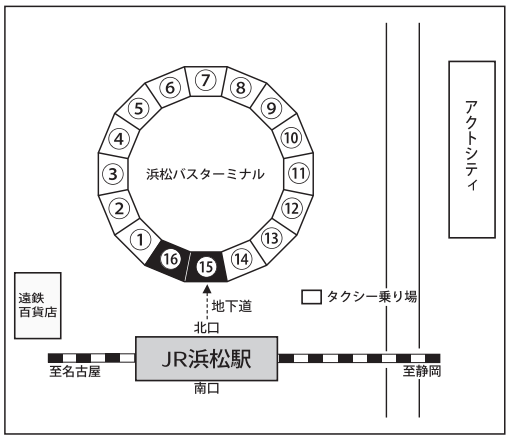
合格発表場所
共通教育Ｌ棟掲示板



静岡大学浜松キャンパス

情報学部・工学部



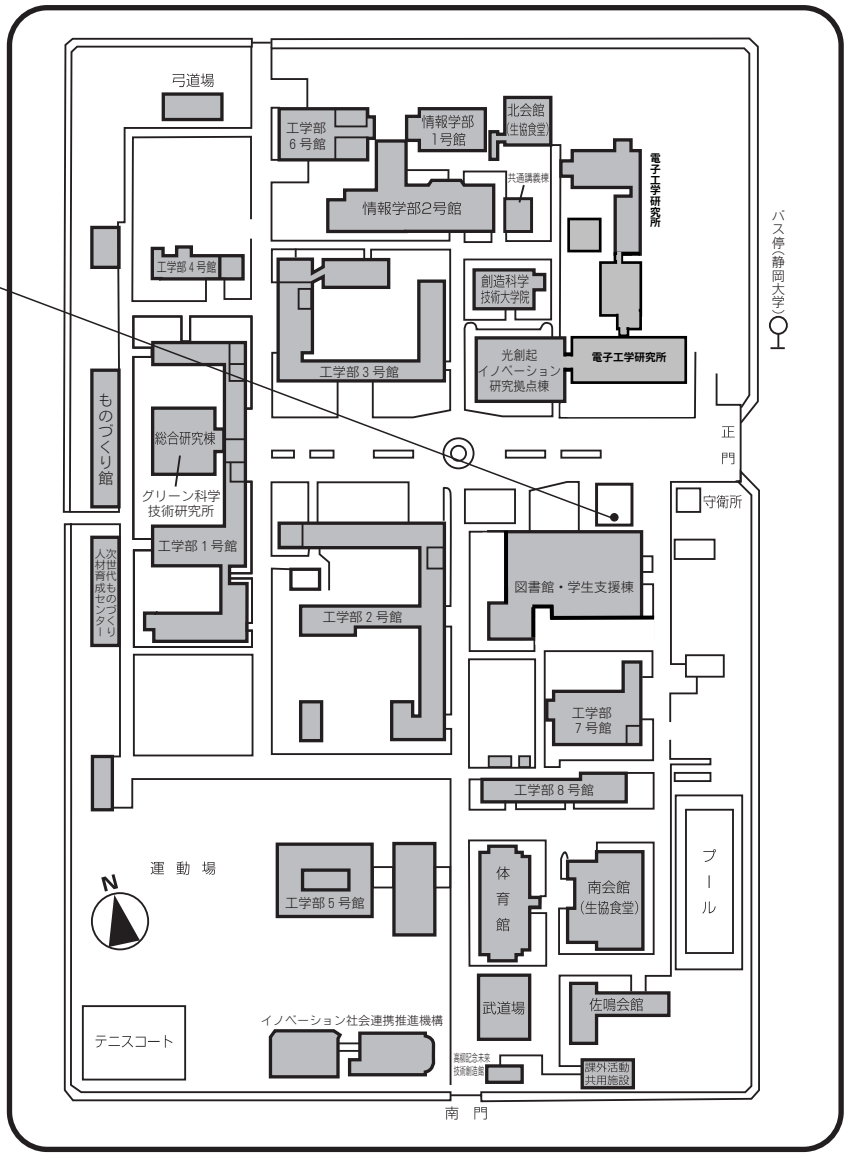


■浜松キャンパスへの交通案内

1．JR浜松駅前北口バスターミナルから遠州鉄道バス15番または16番乗り場（気賀・三ケ日・奥山行き等全路線）に乗車し「静岡大学」下車　　（所要時間約20分）

2．JR浜松駅からタクシーで約15分

合格発表場所
学生支援棟玄関前



入 学 試 験 情 報 の 提 供

１．インターネット

［学部入試ＵＲＬ］　**https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/**

２．入試情報の開示

静岡大学には，入試情報開示制度があります。
開示請求の詳細については，入試課入試企画係にお問い合わせください。

個 人 情 報 の 取 扱 い

個人情報については，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて，次のとおり取扱います。

１．出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学手続業務，④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。

２．（総合型選抜，学校推薦型選抜，一般選抜に限ります。）
国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，氏名，性別，生年月日，高等学校等コード，受験番号，大学入学共通テストの受験番号，合否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。

３．入学者の個人情報については，①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，授業料免除・奨学金申請，就職支援等），③授業料徴収，④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。

４．上記１．及び３．の各種業務での利用に当たっては，一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下，「受託業者」という。）において行うことがあります。
受託業者には，委託した業務を遂行するために必要となる限度で，個人情報の全部または一部を提供します。

安 全 保 障 輸 出 管 理

静岡大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め，外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。
規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」
静岡大学規則集 https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.htm
第2章　組織・運営＞静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」
https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html
ENGLISH PAGE https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html

入学試験に関する情報提供

静岡大学 学部入試サイト

・お知らせ　　・出願状況，合格発表
・募集要項等請求
・オープンキャンパス，説明会　　など

https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/

入学試験に関する問い合わせ先

必ず，受験生本人が照会するようにしてください。〔土曜日，日曜日及び祝(休)日は受け付けません。〕

対 象	担当部局	所 在 地	電 話 番 号
人文社会科学部	人文社会科学部学務係	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4217，4485
理　学　部	理 学 部 学 務 係		054-238-4861
農　学　部	農 学 部 学 務 係		054-238-4815，4816
情 報 学 部	情 報 学 部 教 務 係	〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号	053-478-1510，1511
工　学　部	工 学 部 教 務 係		053-478-1010
概　要	入　試　課	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4464，4465